



高岡商工会議所会報

毎月1回5日発行 令和5年9月5日発行
昭和30年5月20日 第三種郵便物承認

たかおか

2023
September
NO.785

9

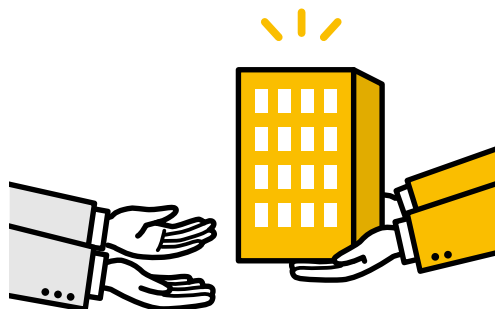
[特集]

高岡商工会議所の 「事業承継支援」事例紹介



山町筋土蔵造りフェスタ

高岡商工会議所の 事業承継支援 事例紹介



長年にわたって守り、育ててきた家業を第三者にバトンタッチする動きが広がっています。中小企業庁の試算によると、2025年までに平均的引退年齢とされる70歳を超える中小企業社は245万人となり、このうち半数強の127万人は後継者が未定とされています。貴重な技術や技能を持つ企業の廃業が増えれば地域経済の土台が揺らぎかねません。地域経済の持続性を高めるためには、円滑な事業承継によって事業価値をしっかりと次世代に引き継いでいくことが不可欠といえます。

そこで今回は、近年増加傾向にある第三者承継を実現し、地域の伝統工芸技術の継承を担う事業者の事業承継事例を紹介します。

大谷喜作商店

大谷 彰郎さん
高岡市横田町3丁目



Photo by minewo



大谷喜作商店は、高岡鉄器の製造卸を主に行っている事業者。鉄器を含めた、高岡銅器業界の景況が厳しい中、後継予定者である大谷彰郎さんが中心となって、干支置物、香炉といった伝統的なものから、現代風にアレンジした製品開発を行うなど経営革新を進めている。

元来、大谷喜作商店は製品の製造を外部に委託するファブレスメーカーであり、生型鑄造での鉄鑄物製品の製造は高岡で唯一となっていた岡鑄造所が担っていた。

しかし、岡鑄造所の代表 岡 幸正さんが高齢ということもあり廃業も視野に入れていた折、大谷喜作商店に事業承継の相談があった。彰郎さんは、鉄鑄物製造の担い手不足によるサプライチェーン寸断の危機を食い止めようと、事業承継を決意、自社生産する体制となった。

岡鑄造所を営んでいた岡幸正さんは、今も製造の現場に立って彰郎さんをサポートする。

彰郎さんは、「高岡鉄器が存続する道を探り、次の世代に引き渡したい」と伝統の継承に意欲的に取り組んでいる。

大谷喜作商店が加盟する高岡銅器協同組合も昨春から需要開拓に本腰を入れ、新ブランド「OMOSI（オモシ）」を展開。第1弾としてブックエンド（本立て）を作り、2月に米ニューヨークで開かれた展示会に出品した。

高岡商工会議所が行った支援

大谷喜作商店と岡鑄造所の統合にあたりハードルとなったのが各事業所における従業員の処遇です。従業員によって異なる処遇となると、モチベーションの低下や離職を招く恐れがありました。そこで、当所では、就業規則の整合性を取ることで従業員の定着化に向けた処遇改善を進めるべく専門家を介しての伴走支援を行いました。

現在、社内の労働環境の整備が進められ、働きやすい職場として認識も深まり従業員のモチベーションアップに繋がっています。

事業承継対策：法人版事業承継税制について

法人版事業承継税制は、会社の後継者が取得した一定の資産について、**贈与税や相続税の納税を猶予する制度**です。エントリーシートを提出すれば、この優遇が適用されます。

\\ point //



- 自社株を贈与・相続するときの**税負担がゼロ！**
- 親族外を含む複数の株主から後継者(最大3人)へ！
- 廃業などの「万が一」にも減免あり
- 雇用要件を満たせなくても、認定支援機関の指導・助言により猶予継続も可能

知らなかったは損！？
期限があることに注意！

- ・ 特例を受けるには **2024年3月末**※までにエントリーが必要
 - ・ 実際に事業承継を行う期限は **2027年12月末** まで
- ※令和4年度税制改正により、エントリーの期限が1年延長(2024年3月末まで)されました。

エントリーシートとは

事業承継税制の特例(贈与・相続時の税負担ゼロ)を受けるため、都道府県に提出が必要なもので「特例承継計画」と呼ばれます。

下記①から④について検討し、特例承継計画に記載する必要があります。

\\ check //



① 後継者
(最大3名まで)

② 株式の承継時期

③ 承継時期までの
経営課題

④ 承継後5年間の
経営計画

※計画の内容について、認定経営革新等支援機関(国が認定した税理士等の士業、金融機関、商工会議所等)に指導・助言を受けてください。

高岡商工会議所では、親族・従業員・第三者への
事業承継に関する様々な相談に対応します
ので是非ご利用ください。



個別相談会

毎月第3月曜日に高岡商工ビルにおいて事業承継に関する個別相談会を実施します。事業承継をお考えの皆さんが、ちょっとしたことでも相談できる機会にしていきたいと考えていますので、お気軽にご連絡ください。※事前予約制となります。

【開催日】 令和5年 9月25日、10月16日、11月20日、12月18日
令和6年 1月15日、2月19日、3月18日

【時間】 午後1時30分～4時

【会場】 高岡商工ビル3階

事業承継相談申し込みはこちら ▶▶▶



【問合せ】 高岡商工会議所 中小企業相談所 TEL 23-5007

PHOTO LIBRARY



8.1

珠算能力検定試験1級合格者 授与式を実施

日商検定1級合格者を表彰

日本商工会議所主催の珠算能力検定試験1級合格者への合格証書授与式を高岡商工ビルで行い、当所塩谷雄一会頭が合格者の健闘を称え、証書と記念品を手渡した。授与式では塩谷会頭が「今後も珠算に励み、更なる高みを目指してほしい」と合格者を鼓舞した。第228回の1級試験には全国で6,960名が受験し、1,970名が合格している。

第228回珠算能力検定試験1級合格者
山本 凌玖 さん(小杉中学校1年生)



8.1~7

高岡七夕まつりが開催

色とりどりの七夕飾りを楽しむ

高岡市の中心市街地で1~7日まで、高岡七夕まつりが開催された。初日にはクルン高岡でオープニングが開催され、実行委員会長である当所塩谷雄一会頭が「七夕まつりの期間を心から楽しんでほしい」と挨拶した。

メインストリートである末広町の「すえひろーど」をはじめ、各会場を大小さまざまな七夕飾りが彩った。夜になると行灯や提灯明かりが入り、来場者は夏の夜空を彩る七夕飾りのアーチをくぐり、幻想的な雰囲気を楽しんだ。



8.8

北陸地方整備局提言要望

能越自動車道や伏木富山港等の 整備促進について要望

石川県能登地域及び富山県西部地域の商工会議所・商工会で組織する能越商工観光懇談会は、新潟市の国土交通省北陸地方整備局を訪れ、能越自動車道や伏木富山港の整備促進等に関する11項目について要望した。道路や港湾、また河川整備については物流や観光、また安心・安全といった地域経済に不可欠なインフラ整備であり、要望会では冒頭に当懇談会会長である当所塩谷雄一会頭が挨拶し、整備促進を強くお願いした。



8.22

地域産業活性化常任委員会

中心市街地活性化と 赤レンガ建物活用について議論

地域産業活性化常任委員会は、主要取り組みテーマである「中心市街地の活性化」と「赤レンガ建物(旧富山銀行)の利活用」を検討するため、今年度2回目の会議を開催し、議員ら21名が参加した。

前半では高岡市商業雇用課の中川正人氏が「中心市街地の現状と活性化事業」と題して講演。参加者は中心市街地が置かれている状況と、各種まちづくり計画を共有した。後半は赤レンガ建物の利活用について意見交換。委員からは持続可能な運営方法を求める声などが上がった。今後、これらの意見を取りまとめ、市へ提案要望として提出する予定としている。